

# 桐生西ロータリークラブ週報

2010-11年度RIテーマ

レイ・クリンギンスミスRI会長 地域を育み、大陸をつなぐ



例会日時 毎週金曜日 12:30～13:30  
 例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス  
 TEL 0277-22-9155 ・ FAX 0277-44-2777  
 Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi  
 会長 片貝 良一 クラブ会報・雑誌委員長 岡田 善孝  
 幹事 近藤 幸利 委員 山岸 泰男・松戸 義澄

No. 1788

2010年11月19日発行

## 祝

### 第1900例会 (2010・11・12) 報告 (B方式)

## 39周年

## 桐生西RC創立記念日・第1900回記念例会

- |             |                           |
|-------------|---------------------------|
| 1. 食事       | 6. 幹事報告                   |
| 2. 点鐘       | 7. 委員会報告                  |
| 3. ロータリーソング | 8. 記念卓話 群馬大学大学院教授 宝田恭之様   |
| 4. 来訪者紹介    | 9. 点鐘                     |
| 5. 会長報告     | 10. ロータリーソング 例会終了後定例理事会開催 |

#### ◆ビジター

群馬大学大学院工学研究科 環境プロセス工学専攻 教授 宝田恭之様  
桐生中央RC 会長 エレクト 増田浩三君

#### ◆会長報告

片貝会長

1. 本日は1900回記念例会です。当クラブは1971年11月12日に仮発会式を行い、これを第1回例会として、以来39年を経過し、本日1900回例会を挙行することになります。ロータリークラブとしての活動を活発に行いながら、RI2840地区の一員としても多くの寄与をして、奉仕活動の実を挙げることが出来ました。これも偏にスポンサークラブとして桐生クラブ、桐生南クラブのご支援を頂き、更に多くの先輩ロータリアンのご指導を頂いて為し得たことと思えます。心よりお礼申し上げます。
2. 先週のガバナー公式訪問は桐生中央RCとの合同例会ではありましたが、志なく終了することができました。会員の皆様にお礼を申し上げます。例会前のガバナーとの懇談会では、今年度の我がクラブのターゲットに対し、完全に同意するとの特別なコメントを、ガバナーよりいただきました。
3. 6日(土)の家族会食事会には15名の奥様方が参加され、和やかに終了することが出来ました。また、7日(火)クラシックカー・フェスティバルには会長、幹事、野田君の3名が参加して、特別展示の白州次郎のペントレー、吉田茂のロールスロイス、アメリカの幻の名車タッカーの警備を行いました。年々この催しが盛況になってきたことを実感しました。
4. 安藤GEより家住慧路君が次年度の第2分-Aガバナー補佐に正式に決定したお知らせが届きました。

#### ◆幹事報告

近藤幹事

- ◇例会終了後1Fにて理事会と親睦委員会を行います。
- ◇次例会の会場はプリオパレス1Fで開催致します。
- ◇地区のデスティネーションキャンペーンのパンフレットが多数ありますので、PRにご協力下さい。
- ◇15日(月)事務局はお休みさせていただきます。
- ◇第21回地区茶の湯研修会のご案内(各テーブルに配布)、地区よりR財団DVD『毎年あなたも100ドルを』、桐生商工会議所より就退任のご挨拶状、

フジTVより『クーザ』公演のご案内、以上届いております。

#### ◇例会変更のお知らせ

桐生中央RC 12/2、12/16、12/23(休)、12/30(休)  
桐生赤城RC 12/21、12/28(休) 他7RC

#### ◇クラブ会報が到着しています

桐生RC 11/8 足利RC 10/1、10/8、10/15、10/22  
桐生中央RC 10/27 桐生赤城RC 11/2

#### ◆食事メニュー

1245キロカロリー

鰯の煮付け、蒸し鶏と紅芯大根のサラダ、赤飯と白飯、香の物、鮭と白菜のみぞれ和え、松茸のお吸物、フルーツ

#### ◆委員会報告

##### □S A A

花房 S A A

本日の記念例会を祝して紅白のお饅頭を用意しましたので、お配り致します。

##### □出席委員会

石川委員長

総数49名(免除者8名のうち4名出席の為4名を除く)  
出席率対象者45名、出席率対象者出席人数37名  
欠席者8名(内前メイク2名) 出席率86.67%  
日々例会修正出席率95.74% (最終欠席者2名)

##### □ニコニコBOX委員会

新木委員長

宝田教授、記念卓話ありがとうございます  
片貝君、稲森君、近藤君、阿左美君、  
江原君、花房君、岡田君、石川君、新木君  
1900回記念例会を祝して 金子君、正田君  
クラシックカーフェスティバル in 桐生お疲れ様でした 野田君  
孫の婚礼無事終了 井本君  
X'masケーキの予約承ります 符波君

##### □ロータリー財団委員会

乾委員長

宝田教授をお迎えして 稲森君、岡田君  
1900回記念例会おめでとうございます 符波君  
SAAより本日は紅白のお饅頭をお配りします 花房君  
孫の婚礼無事終了 井本君

##### □米山奨学委員会

小林委員

宝田教授、記念卓話ありがとうございます  
稲森君、岡田君、符波君、福島君  
クラシックカーフェスティバル in 桐生お疲れ様でした 野田君  
孫の婚礼無事終了 井本君  
ラグビーのトップリーグ後半戦が始まります 花房君

## 記念卓話



群馬大学大学院工学研究科  
環境プロセス工学専攻

教授 宝田 恭之様

「脱温暖化と  
楽しい未来社会の構築  
—世界をリードする  
桐生の取り組み—」

私の専門はエネルギー開発です。高効率な転換技術を開発して参りました。地球温暖化防止の為、日本が京都議定書で6%減を公約しました。その当時この数字はかなり難しい数字でした。今、私達が自分達の技術や研究を見直して、何とか頑張れるのはその程度であろうと思います。2020年に25%削減、2050年に80%削減という数字も出ておりますが、この数字はどう計算をしてみても研究開発、技術開発では積み上げられない限界を超えています。見方を変えて、社会構造を変えて脱温暖化を図りますと十分やれる可能性があります。それが今日お話しする「楽しい未来社会の構築」となります。

現在の社会が十分満足する社会であれば、今後何もすることはありません。しかし現状は到底満足出来る社会とは思えません。もっと新しいビジョンに基づいた未来社会を、そして結果として脱温暖化にも貢献出来る社会を創ることを、まずは私共工学部が取り組んでおります。桐生には様々な文化・歴史・力があります。それらを合わせて活かしていけば十分できる能力を桐生は持っています。私達は世界をリードするプロジェクトを出す事を目標として、取り組んでおります。

一人当たりの所得が増えて来ると最初環境汚染度が増します。しかし更に所得が増すと逆に環境が良くなります。日本では高度経済成長時代に公害が勃発しました。経済優先ですから当たり前の事です。それ以上に裕福になれば環境も良くなりますので、急激に環境も良くなります。今後、後進国が先進国の歩んだ同じ道を歩めば人類に進歩はありません。それでは次に何が必要かと言うと、研究開発は勿論ですが『社会構造変革』（楽しい未来社会の構築）であり、20世紀型の構造から21世紀型に変えて行くことです。GDPが上がれば人類の幸福度が増したかということ、そうでは無かった筈です。途中から路線を変えなければならなかったのだと思います。その起点は1990年位ではなかったかと思えます。

CO2を減らしましょう、エネルギーを削減しましょうと言っても、楽しく無ければ続きません。工夫と精神的影響がどうかということが重要なのです。実践してみてもエネルギーを使わない方がかえって良かったり楽しかった事が多々ある事がわかりました。一番示唆に富んだ行為は「一人で家に居ない」ことです。結果として「友達が増えた」に繋がりました。これは大変重要な事です。20世紀の社会構造は大量生産大量消費でした。結果として過度に分散化した社会が生まれました。1人1台持っていますから人と一緒に居なくても（しなくても）良くなり、コミュニケーションが無くなります。これが多くの問題に繋がりました。エネルギー削減の為に「友達と一緒に行動する」ことが、「コミュニケーションがとれるようになる基礎」だと発見したのです。それでは一体何が幸せで、人生の目的は何なのかということにぶつかります。これが分からないと技術開発が出来ないのです。これは工学の世界でなく文系の世界になってしまいますが、未来型の社会を創るには「感性」が必要であることが分かって来たのです。

感性を育むものは自然環境と社会環境がミックスしたところだと私は思っています。人工物の中に居たのでは新しい発想は生まれてきません。東京やニューヨークは

20世紀の遺物になってしまい、21世紀に求められているのはそういう街ではありません。そうすると群馬県は自然に恵まれた素晴らしい環境にあります。もう使い捨ての時代ではなく少量生産少量消費となり、ロングライフテクノロジーと私は言っておりますが、寿命の長い付加価値のある、価格は今までの2~3倍であっても魅力ある商品の開発が求められます。そこには芸術性や感性が重要になってきます。それで、これだけの財産がある桐生であれば未来の街が構築できるのではないかという事で「地域力による脱温暖化と未来の街 桐生の構築」というタイトルでJST（科学技術振興機構）に申請し、2年半前からこのプロジェクトをスタートして私が代表を務めさせて頂いております。脱温暖化が目的でなく、街活性化で2050年迄にCO2を80%減らそうと展開しておるところであります。JSTが約20箇所でプロジェクトを行っておりますが、その中のNo.1がこの桐生のプロジェクトなのです。これだけ桐生市民と一体となって行っている所はありません。

桐生の低炭素街づくりの基本は、コミュニケーションがとれる街、人が集まる街です。梅田、黒保根、新里等のバイオマス資源や畜産農家の地域資源（太陽光も含む）を活かしたエネルギーづくりを行い、街の中心地でそのエネルギーを有効に使って、クリーンで人が集まれる街が作れる様、実践しております。

単にエネルギーを使っているとCO2は5~6%しか減りませんが、それを材料として街の中で使い、使用後廃材となったものをエネルギーとして使えばトータルで17%位削減できます。コンクリートでなく潤いのある木材や竹垣を使って街並みをつくれれば、歩いていても気持ちのいい街ができます。昨年竹垣プロジェクトを実施しましたら景観が変わり大変好評でした。その竹垣は最後エネルギー化します。

また、再生可能なエネルギーを街の中に持って来て、電動アシスト自転車や電気自動車（EV）に供給して生活していく事を提案しております。そうなる移動用のリチウムバッテリーが必要だと分かり、某社に依頼して見事に開発して頂きました。更に街の中を時速20kmで走るバスを走らせたいと思っています。何故かという何処でも乗り降りができ、お年寄りが安心して使えるからです。実際桐生の街中を20kmで走ってみました。信号が多いので所要時間は変わりませんでした。またマイクロEVを開発し実際に走らせました。原付です。車検も車庫証明を要らず税金も2,500円、燃料代は30分の1ですみます。ただ原付です。現状1人しか乗れません。2人乗れないと意味が有りませんので、総合特区を申請しております。安全性を確保して実証して行きたいと思っています。大手メーカーの路線とは全く違いますので、上手く行けば地元の産業に繋がると思えます。

この様に、環境・技術・地域振興を、マイクロEVや低速バス等を用いて、周辺のエネルギーを一体化して行けばスマートグリッド化も可能かと思えます。しかし、こういった技術開発だけで街の構造を先に考えて未来社会をつくることを主張しているのではありません。まずは意識改革が先でだと考えます。生活して行く上で、何が大切で何が重要なのかをもっと突き詰めてみたいと思っています。コミュニケーションのとれる、ふれあいやきずなのある社会。潤いの時間と空間、自然との調和に基づいた未来社会の構築を進めて参りたいと思います。

このJSTプロジェクトは未だ2年半あります。正に桐生市民と一体となつてプロジェクトでございますので、皆様のご協力を賜りますよう、お願い致します。

## 《次例会予告》

11月26日(金) ロータリー財団月間に因んで

講話 地区補助金・奨学金・年次寄付恒久基金委員長 森田均PG

家族会食事会と理事会報告は次号に掲載します